

好天に恵まれ島内を快走

第24回吉岐サイクルフェスティバル



疾走する選手たちを沿道で応援する観客

(31歳・長崎県) タイム1時間34分26秒。2位・井上貴和(34歳、福岡県)、3位・野上千代美(36歳、福岡県)▽エキスパート30歳U19 1位・荻原俊太(17歳、福岡県)、2位・橋爪佑輔(19歳、福岡県)、3位・橋田康太郎(16歳、長崎県)▽エキスパート30歳U39 1位・松本若樹(30歳、福岡県)、2位・亀井宏(31歳、福岡県)、3位・宮近拓二(34歳、福岡県)▽エキスパート30歳U49 1位・今泉喜樹(46歳、佐賀県)、2位・坂本祥一(49歳、福岡県)、3位・松岡幸雄(40歳、福岡県)▽エキスパート30歳U59 1位・福島雄二(55歳、熊本県)、2位・加藤誠(52歳、福岡県)、3位・柴田佳男(54歳、佐賀県)▽エキスパート30歳U60 1位・西丸房雄(60歳、福岡県)、2位・井上好徳(60歳、福岡県)、3位・栗津正彦(64歳、福岡県)▽エキスパート30歳U70 1位・徳留春美(48歳、鹿児島県)、2位・市川寿美(46歳、山口県)、

3位・津末貴子(33歳、大分県)▽エキスパート30歳U80 1位・茨木博成(13歳、福岡県)、2位・齋藤華弥汰(15歳、福岡県)、3位・片野陸(13歳、長崎県)▽ジュニア8歳、1位・松井巡平(12歳、長崎県)、2位・

925円▽平均体重44.9キログラム▽1.5955円▽妊娠▽入場・成立1111頭▽売上高34,987,050円▽最高942,900円▽最低169,050円▽平均315,199円▽平均体重522キログラム▽1.604円▽合計▽入場229頭▽成立2227頭▽売上高63,570,150円▽最高955,500円▽最低54,600円▽平均280,045円▽平均体重507キログラム▽1.552円



日限選手のデモンストレーション

▽芦辺町諸吉仲触、平川定(亡母文化)・市協協吉辺事業所、諸吉後目公民館、老人保健施設吉岐へ▽芦辺町湯岳本村触、岡田文敏(亡父七郎)・市協協吉辺事業所、国分当公民館へ▽石田町池田仲触、安永達雄(亡母政子)・市協協吉辺事業所、池田西上公民館、池田西老人クラブへ▽石田町日通寺浦、江田邦夫(亡父不二夫)・市協協吉辺事業所、石田中学校、石田小学校、石田幼稚園、石田保育所、筒城小学校、筒城保育所、吉岐高校、本町公民館、同老人会、本町公民館へ▽石田町久喜触、田中徹(亡父亀次郎)・市協協吉辺事業所、久喜公民館、同老人クラブへ

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分

○おたんじょう (31日)10日 届け出分



文化ホール前のスタート

赤木保旗争奪・少年剣道大会 吉岐剣道協会(目良憲一 会長)の第24回赤木保旗争奪市少年剣道大会がこのほど開かれ、団体の部で石田少年剣道クラブAが優勝した。主な成績は次の通り。◎団体▽優勝・石田少年剣道クラブA▽準優勝・田河道

「走る喜びを意識できる大会」 第24回吉岐サイクルフェスティバル。50歳の部に出場したプロのサイクリスト・日限優輔選手(29)を講師にフェスティバル前日の9日、芦辺町、一支国博物館で「自転車でも心も元気になるワークシヨップ」が開かれた。ワークシヨップでは、現在アメリカのプロチーム「ワンダフル・ピスチオス」に所属、主に海外でのロードレース大会を転戦する日限さんの体験談、プロも取り入れている簡単なエクササイズの実技指導などあり、吉岐でのレースに参加した体験から「島全体で選手を応援してくれているように感じられ、走る喜びを意識できる大会」などと話した。博物館駐車場で行われたデモンストレーションで一緒に走った福岡県春日市、茨木崇光くん(11)は「明日のレースで8キロ出ます。早かった。スピードにワクワクしました」などと

▽川崎サツ子さん(93)立石仲触▽浦富守さん(85)立石仲触▽浦吉二亦触▽田口哲男さん(77)芦辺浦▽中野江美子さん(81)諸吉二亦触▽薄川捷代さん(70)諸吉本村触▽石田町▽辻田彌坂さん(72)池田西触◎日曜営業ガソリンスタンド

あじさい祭・文化の烽火

「おいでませ吉岐文化ホール・大ホールへ」と、郷ノ浦文化協会主催のあじさい祭りが9日と10日の両日、文化ホール一帯で開催された。会場ではあじさいやとぶ火、かかげて三十年の句が表紙にある「郷ノ浦町文化協会創立三十周年記念 機関誌『烽火』第53号特別版」(A4判、12頁)を目にした。

その機関誌・烽火には、会長の立石弓子さん(第七代)の「三十年を迎え」と題する挨拶文が掲載されており、初代会長の西川左生氏の句「あじさいの水々しさも 華やかに」が紹介されていた。今年で17回を数える今回、展示されている作品や発表の場面にまで、まさにこの句の意志がみずみずしく反映されているように感じられ、昭和56年2月に発足した郷ノ浦町文化協会への、西川氏の思いも同様に感じられる。

「文化」を辞書に探すと、人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果。衣食住をはじめ技術・学問・芸術・道徳・宗教・政治など生活形成の様式と内容を含む。文明とほぼ同義に用いられることが多いが、西洋では人間の精神的な生活にかかわるものを文化と呼び、文明と区別する。などといった。その「物心両面」のバランスを取り、心の平和・精神的な幸福感を実感するために、その「文化を大切にすること」が鍵。まさに文化の烽火が多くの人々の心に届くことを願って一である。

「文化」を辞書に探すと、人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果。衣食住をはじめ技術・学問・芸術・道徳・宗教・政治など生活形成の様式と内容を含む。文明とほぼ同義に用いられることが多いが、西洋では人間の精神的な生活にかかわるものを文化と呼び、文明と区別する。などといった。その「物心両面」のバランスを取り、心の平和・精神的な幸福感を実感するために、その「文化を大切にすること」が鍵。まさに文化の烽火が多くの人々の心に届くことを願って一である。

「俳句 島を詠む 六月③」 目良 奈々月 都会暮らしの中では、けして経験出来ない季節もたくさんあります。田植前に水路を掃除したり又補修する「溝浚(みぞさら)へ」もその一つ。常緑樹は新茶の整うのを見届けたかの様に、古葉を落とすのです。常磐木(ときはぎ) 落葉とも称します。